

2024年6月\_四半期

# キミスカ就活アンケート

## アンケート概要

調査目的：学生の就活状況を明らかにする

対象：2025年卒・2026年卒『キミスカ』登録ユーザー

地域：全国

調査方法：WEBアンケート

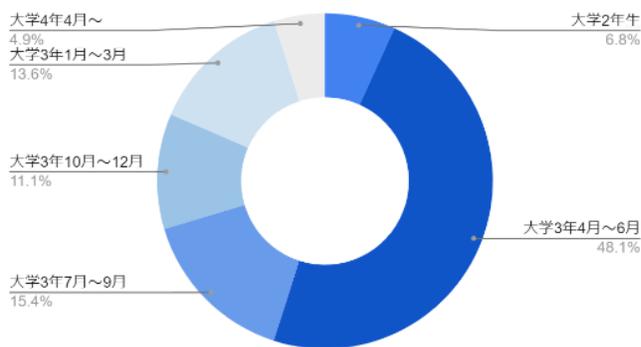
有効回答数：2025年卒：162件 2026年卒：127件

実施期間：2024年6月14日～7月3日

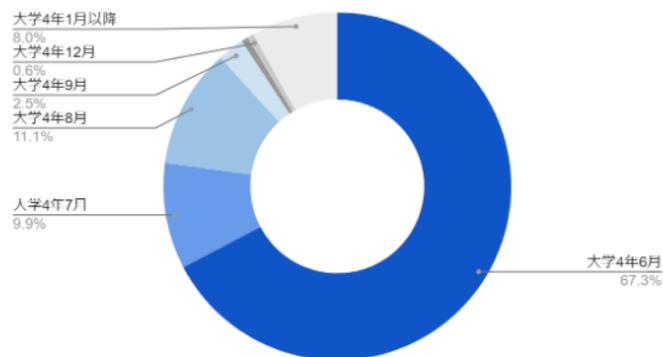
## ①25卒就活状況

### ■就活の時期と今後の就職活動について

就活を開始した時期を教えてください



就活を終了したい時期を教えてください。

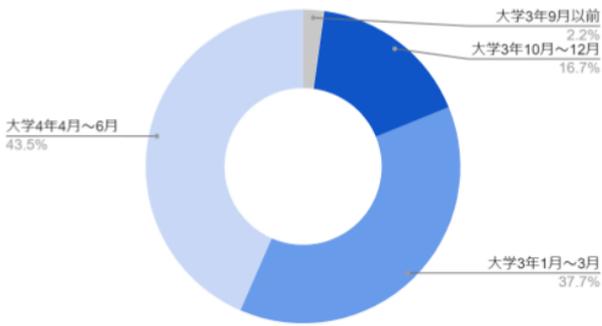


54.9%の学生が大学3年6月までに就職活動を開始していました。

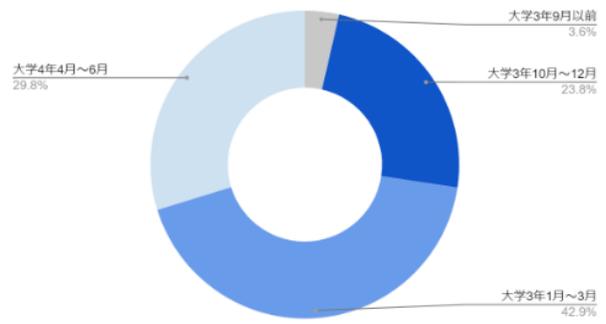
その中でも大学3年4月～6月に開始する学生が最も多く、夏のインターンシップの情報収集をきっかけにスタートさせる学生が多いことが予想できます。

就活を終了したい時期では大学4年6月が最も多く、8月までには約9割の学生が終わらせたいと考えていることがわかりました。

### 初めて内定を獲得した時期を教えてください。



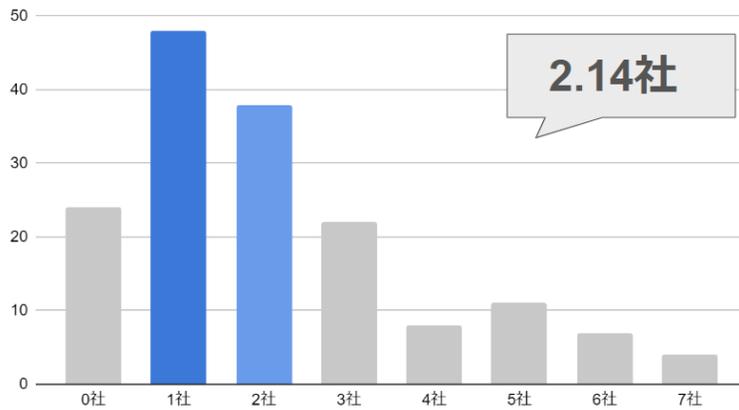
### 早期学生の内定獲得時期



すでに内定を保持している学生の中で、半数以上（**56.6%**）が大学3年までに内定を獲得していることがわかりました。

さらに大学3年6月までに就活を開始した学生だけで見ると、**70.3%**が大学3年3月までに内定を獲得していました。（グラフ右）

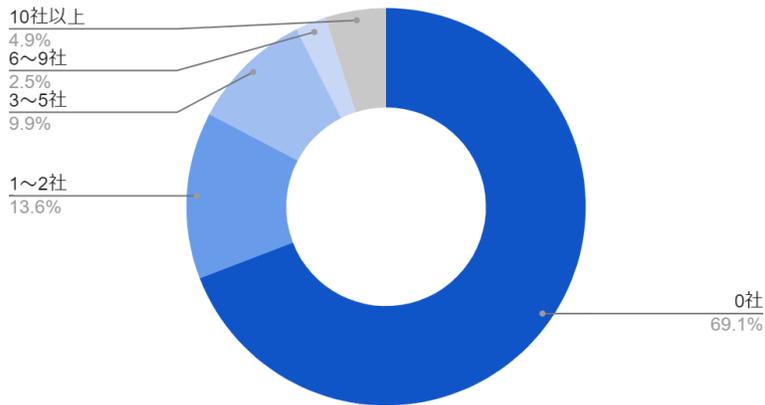
### 内定獲得社数を教えてください。



1人あたりの内定獲得平均社数は「**2.14社**」で、複数社から内定を得ている学生が多いことがわかります。

内定獲得平均社数に関しては、早期（大学3年6月まで）に就活を開始した学生でも大きな差はなく、「**2.42社**」という結果になりました。

## あと何社エントリー予定ですか？

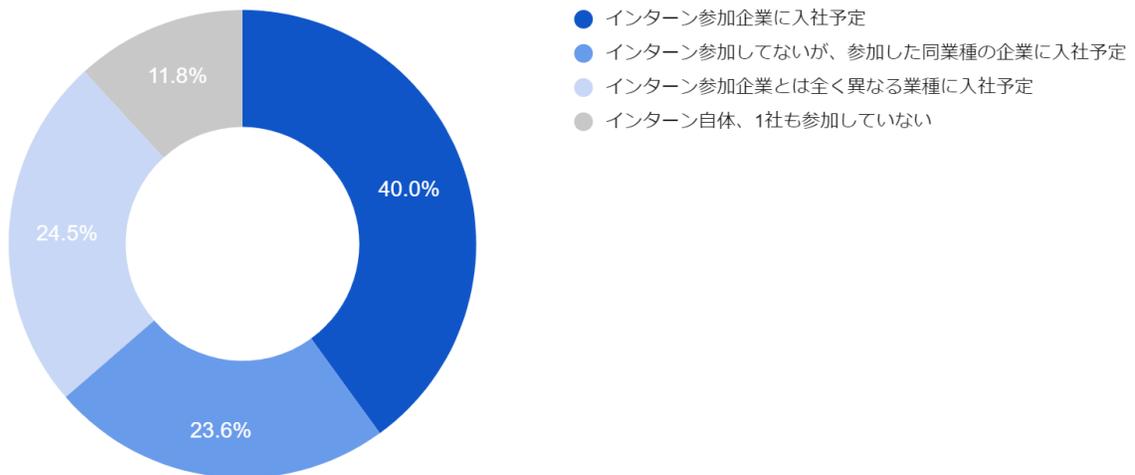


今後のエントリー社数についても**69.1%**が「**0社**」と回答し、次に多いのが「**1~2社**」の**13.6%**となりました。

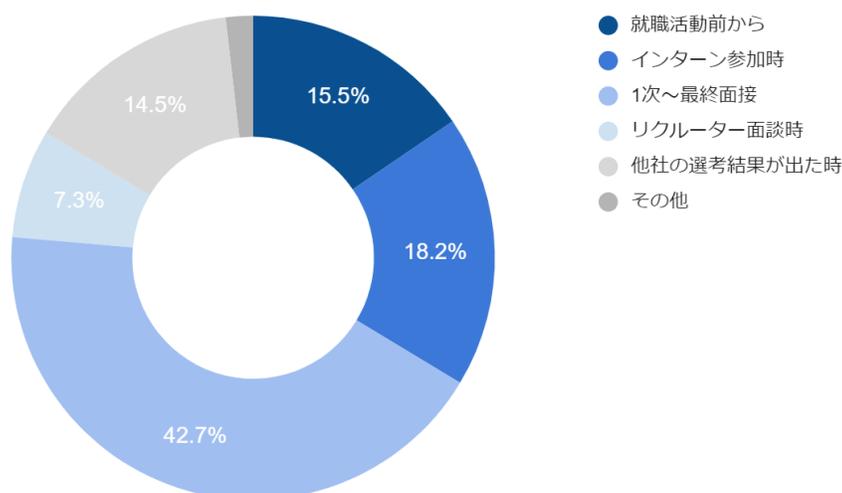
まだ内定承諾していない学生も、すでに選考中もしくは内定を獲得している企業の中で入社予定企業を選ぶ段階にきており、企業側も選考中の学生の魅力付けの優先度を上げていく必要があります。

## ■入社予定企業について

### 入社予定企業について教えてください。



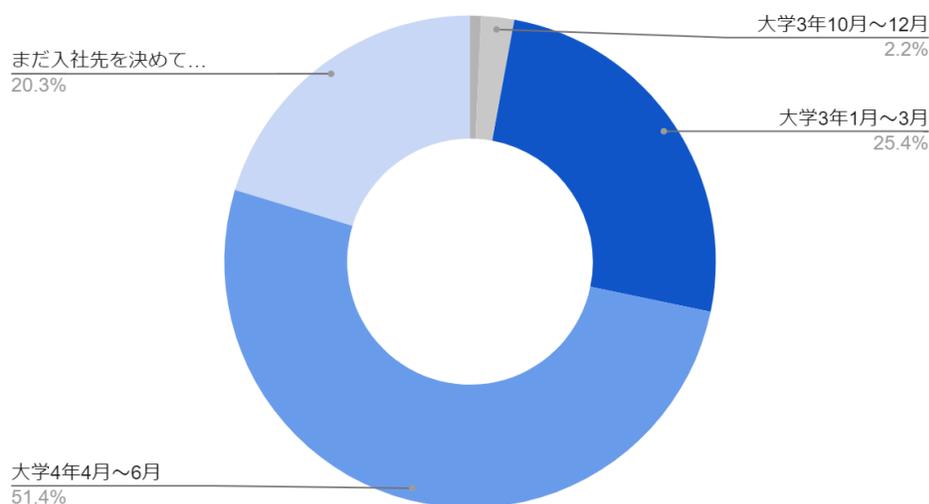
### その企業に入社したいと思ったタイミングを教えてください。



入社予定企業のインターンシップに参加していた学生は4割という結果になりました。さらに、「インターン参加していないが、参加した同業種の企業に入社予定」の回答を合わせるとインターンシップが6割以上の学生の企業選別に影響を及ぼしていることがわかります。

一方で、実際に「入社したい」と思ったタイミングで見ると「1次～最終面接」が42.7%を占めています。インターンシップはあくまでもきっかけであり、その後の面接での対応や魅力付けが志望度を上げるために重要であることがわかりました。

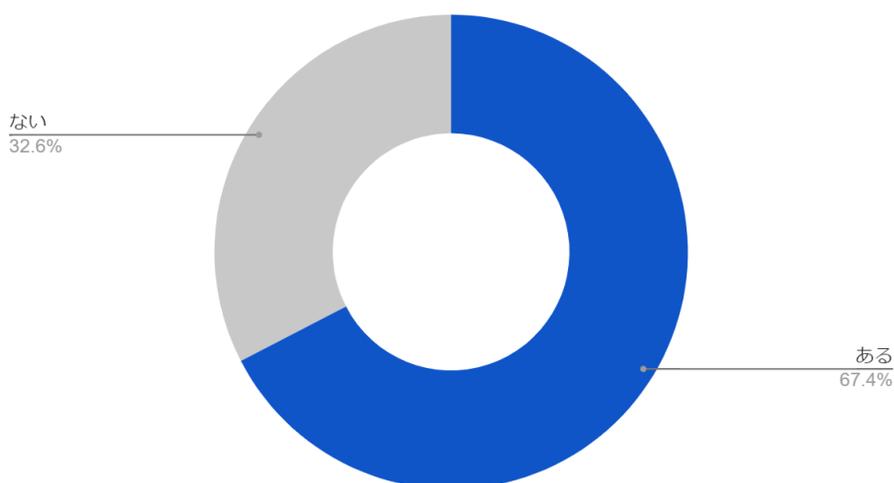
### 入社予定企業からの内定獲得時期を教えてください。



入社予定企業からの内定獲得時期は、大学4年4月～6月が最も多く51.4%と半数を占めています。大学4年6月までにはある程度内定が出揃い、このタイミングで入社先を決める学生が増えるという流れが予想できます。

## ■辞退とその理由について

### 内定を辞退したことはありますか？



すでに内定を保持している学生に内定辞退の経験を聞いてみたところ、67.4%が「ある」と回答しました。25卒の学生も「内定を複数社保持しながら選ぶ」という売り手市場であることには変わりありません。

採用担当が最も避けたい「辞退」について、それぞれの選考過程で、なぜ学生が辞退しようと思ったのかを聞いてみました。

説明会参加後に辞退した主な理由を教えてください。

- ・社員の方の雰囲気が自分と合っていないさそうと思ったため
- ・人事や現場社員、また他のインターンシップ参加者の雰囲気が自分とは合わないと思ったから。
- ・説明会后、問答無用で次の面談日程を組まれたため、不信感があった。
- ・想像していた業務内容と異なっていたため
- ・説明会に参加されていた社員の方の印象が悪く、社風自体が合わないと思ったから
- ・待遇面や勤務地などの希望との不一致

選考参加後に辞退した主な理由を教えてください。

- ・圧迫面接であったり、気に障るようなことを面接で言われたため。
- ・面接官の態度が横柄で一緒に働きたいと思わなかったため。
- ・希望していた企業に先に内定をいただいたから。
- ・自分の期待した職種につける確率が低かったため

- ・選考のために更に企業研究を重ねるうちに、やりたいことではないと感じたから。
- ・内定先企業と比較をしたときに関わっている領域や業務内容など仕事自体の内容で違うと感じたから

内定を辞退した主な理由を教えてください。

- ・より志望度の高い企業から内々定をいただいたため
- ・他の企業よりも福利厚生や年収が低いため
- ・転勤の有無
- ・勤務地や待遇への不安
- ・最終面接での面接官の態度がとても上からで組織体制に不安を感じたから
- ・内定先の業務内容がいまいち掴めていなかった

説明会という就活初期フェーズの辞退理由として、最も多かったのは「社風が合わない」でした。実際に参加してみて感じた雰囲気や社員の言葉や話し方を見て判断している学生が多いようです。説明会での辞退は第一印象で決まると言っても過言ではないかもしれません。

次に選考参加後の辞退ですが、ここで最も多かったのも「面接官の態度」でした。

一緒に働く人や雰囲気を大事にしている学生が多いようです。

また、選考フェーズになると自身の就活軸が固まり始めることで「他社比較」が出てきます。

「この企業で自分のやりたいことができるのか」を熟考するフェーズになるため、入社したらどんな活躍ができるのか、業務内容含め自社で働く未来をどれだけ具体的にイメージしてもらえるかが重要になります。

最後に内定辞退理由ですが、ここでは「条件面の不一致」を挙げる学生が多い結果となりました。

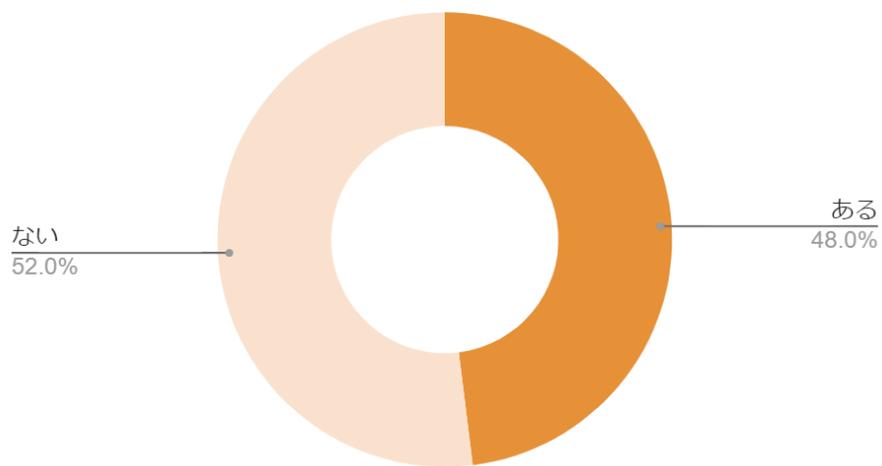
実際にこれから何年も働くという現実を考えると、さらに条件のいい企業に出会えればそちらに心が傾いてしまうのがこのフェーズです。

条件面を変えるのは簡単ではないため、それ以上に学生一人一人が魅力を感じる自社のポイントはどこなのか。どれだけ個々人にしっかり向き合い伝えていけるかがカギになります。

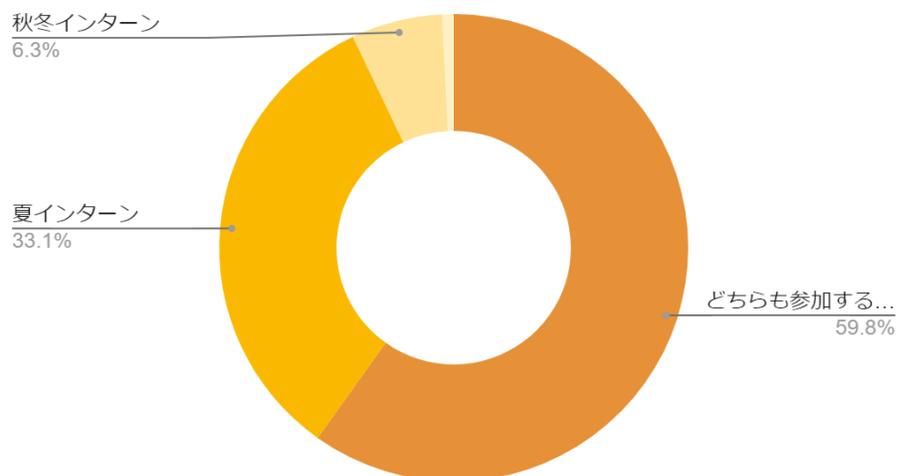
## ②26卒就活状況

## ■インターン参加について

### インターンに参加したことはありますか？



### インターン参加予定時期を教えてください。



6月時点ですでに**48%**の学生が\*インターンに参加したことがあると回答しています。

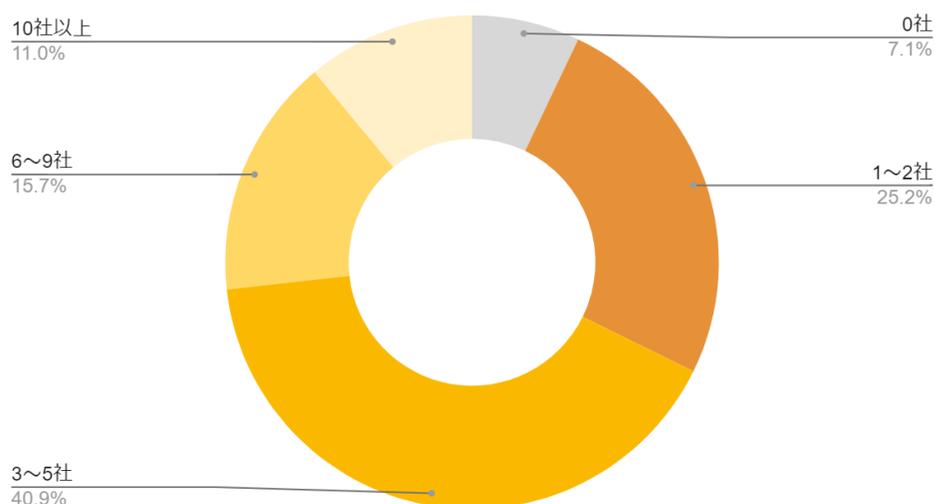
実際にインターン参加予定時期は、秋冬どちらも参加すると回答した学生が**59.8%**となりました。

26卒に関しても、すでに多くの学生がインターンシップを意識し行動し始めていることがわかります。

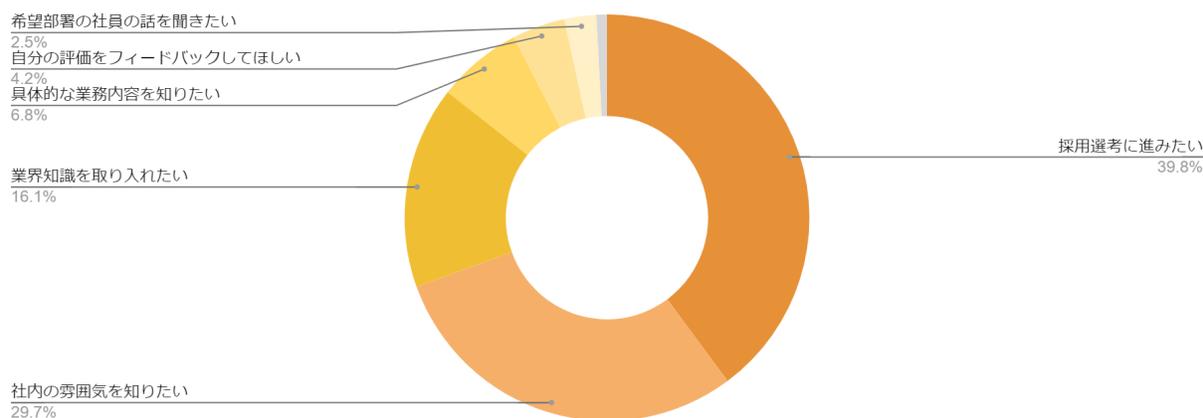
\*「インターン」にはオープン・カンパニー等も含まれます。

参考：産学で変えるこれからのインターンシップ ([https://www.keidanren.or.jp/policy/2022/039\\_leaflet.pdf](https://www.keidanren.or.jp/policy/2022/039_leaflet.pdf))

## 夏インターン参加予定社数



## 夏インターンに最も期待していることを教えてください。



夏インターンの参加予定社数は、3~5社がもっとも多い結果となりました。

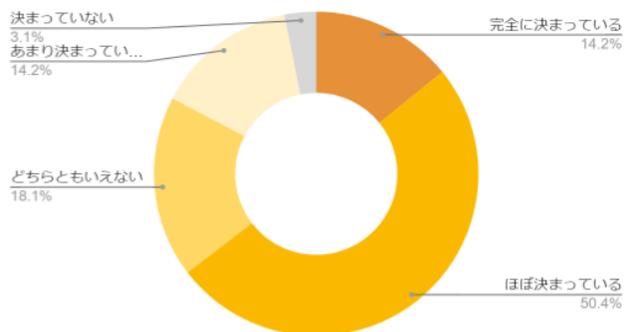
全体的に見ても1~5社以内の参加が**66.1%**となり、インターン参加の時点で厳選している様子が見えます。

夏インターンに最も期待していることは、「採用選考に進みたい」が最も多く**39.8%**、次いで「社内の雰囲気を知りたい」**29.7%**、「業界知識を取り入れたい」**16.1%**となります。

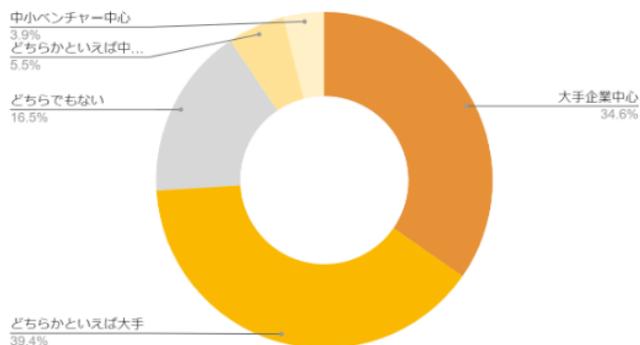
夏の時点で、選考に有利になることを期待して参加する学生が多いことがわかりました。

## ■志望業界・規模について

### 志望業界は決まっていますか？



### 志望する企業規模を教えてください。

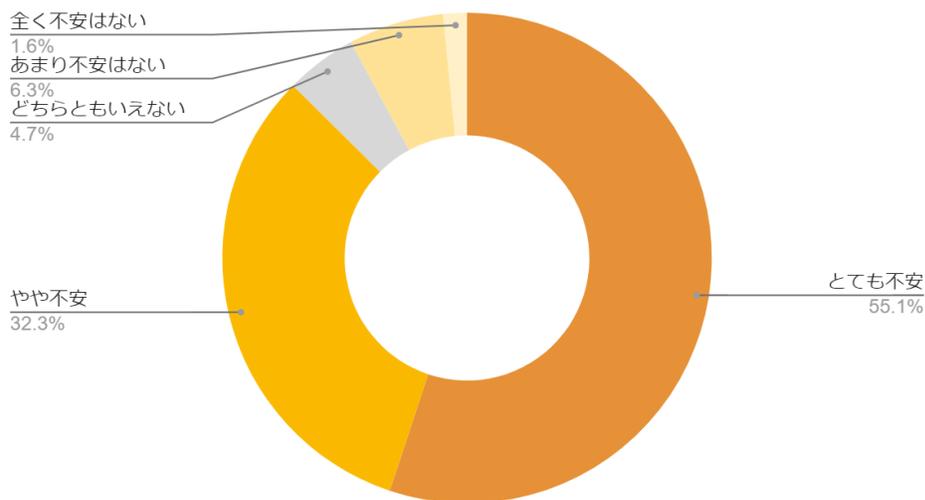


6月時点で、すでに志望業界が「完全に決まっている」「ほぼ決まっている」と回答した学生が**64.6%**となりました。

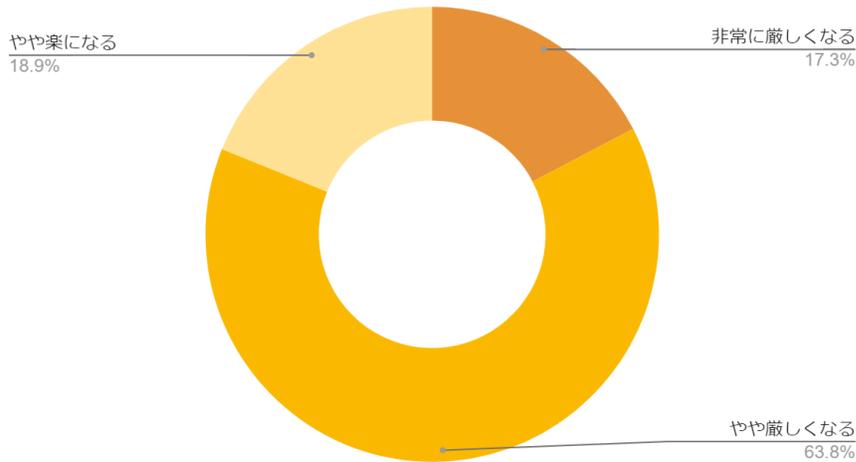
また、企業規模に関しては「大手企業中心」「どちらかといえば大手」という回答が7割を超えていることから、学生の大手志向は26卒でも変わらず、中小ベンチャー企業は楽観視できない状況が続きそうです。

## ■就活に対する不安について

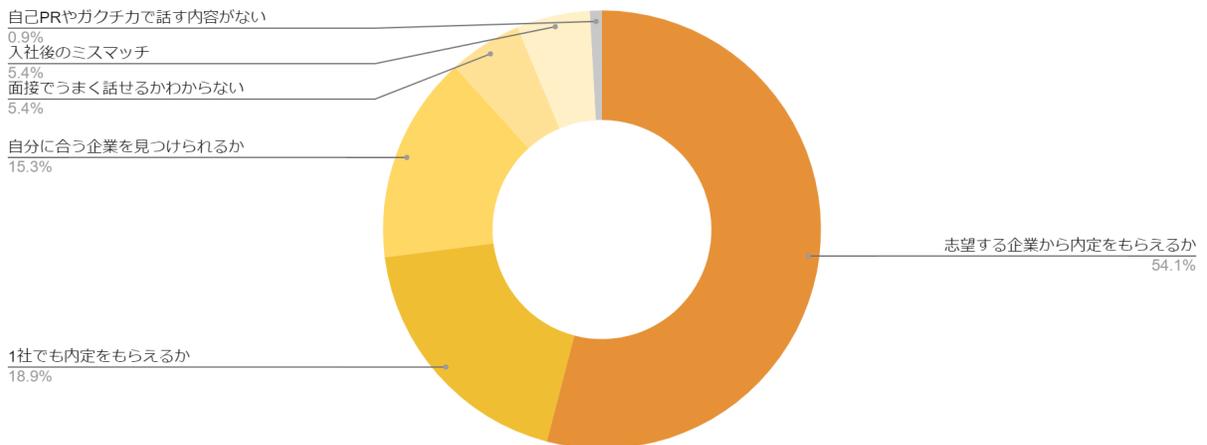
### 就活に不安はありますか？



## 周囲の先輩と比べて、自身の就活はどうなると思いますか？



## 就活において、何に不安を感じますか？



売り手市場とはいえ、学生側に余裕があるというわけでもなさそうです。

「とても不安」「やや不安」を合わせると**87.4%**の学生が就活に対して不安を感じています。

また、先輩と比べて自身の就活は厳しくなると考える学生が多く、「非常に厳しくなる」「やや厳しくなる」を合わせて**81.1%**となりました。

しかし、実際に何が不安なのかを聞いたアンケートでは「志望する企業から内定をもらえるか」が圧倒的に多く、内定獲得そのものへの不安よりも、もらえる内定（企業）に自身が満足できるかという、内定獲得ありきの不安であることがわかります。

自身の就活が売り手市場という感覚が薄れている世代ですが、だからこそ内定の数よりも質を求めて行動している可能性があります。「内定を出せばいい」時代が終わった今、26卒採用に関しても引き続きどれだけ学生に向き合えるかが採用成功のカギとなりそうです。